

要望書（回答）

1. 除雪対策について

降雪時の除雪対策に日夜ご尽力をいただいております事に感謝いたします。毎年度「まちかどミーティング要望書」において交差点に高く積み上げられる堆雪が支障となり交差点内の見通しが悪く車両接触などの危険の恐れがあることなどから住民より交差点内の見通しが容易にできる排雪を要望されております事につきましてはご承知のことと存じます。

つきましては、本年度の降雪量が特に多かったこともあり、交差点内の堆雪された雪の量も多くなっておりますので巡回を行い迅速な排雪を行っていただきますよう要望いたします。

さらに、今後も次年度以降の対策をご検討いただき、冬道での交通事故防止にご尽力をいただきますよう要望いたします。

【回答】（都市建設部維持課 担当）

本市の除雪方法は、かき分け除雪を採用しており、ご自宅の前の路肩や歩道などに雪が残ってしまいましたが、極力皆様の御不便とならないよう、除雪機械で交差点や公園の周囲、空地などに堆雪している状況を御理解願います。

御指摘の、堆積箇所につきましては、除雪担当者による「ブロック会議」において指導しており、道路パトロールなどにより、雪山が高くなり、見通しが悪いなど通行に支障のある場合には、高さを削り落としたり、排雪を行うなど速やかな対応に心掛けておりますが、今シーズンは、降雪量も多く例年より雪山が高くなり、皆様に大変御不便をおかけしております。

なお、三光町につきましては、雪の置き場所が限られていることから、通行に支障のある箇所について、今年度は、1月6回・2月2回・3月1回・計9回の排雪作業を行っており、次年度以降も引き続き、対策を行ってまいりますので、お気づきの点がございましたら、道路管理事務所（73-5000）へ御連絡くださいますようお願いいたします。

2. 動物の出没について

昨今、当町内会地域にエゾシカ、キタキツネの出没が多くなっており家庭菜園への被害や道路、家庭内敷地等への糞の散乱等が目につくようになり住民より不安の声が上がっております。

地域住民にとりましては、その対策を講じるすべもなく苦慮しております。

また、キタキツネにはエキノコックス症という病気の感染もあり、道内では毎年10数名の患者が見つかる現状もあります。しかし、その病気の防止や対策も理解されていない現状もあります。

このことから、エゾシカ、キタキツネの市街地出没の対策、更にはキタキツネに対す

団体名：日の出三光町内会

回答日：令和4年3月17日

る行政として病気の現状や対策等広く市民に情報を提供いただきたく要望いたします。

【回答】（環境衛生部環境生活課 担当）

市街地に出没している野生鳥獣について、市にも多くの相談が寄せられており、特にエゾシカ対策については、全道的にも対応に苦慮している状況となっております。

エゾシカの市街地出没を減らしていくためには、生息数を減らしていくことが重要と考えておりますが、市街地においては、ワナや銃の使用が禁止されていることから、国や北海道などにより、苫小牧市の山林や東部地域等において、エゾシカの捕獲事業を実施しております。令和2年度は、捕獲事業や狩猟等により約1,800頭のエゾシカの駆除を行っている状況ですが、これらに加え、令和4年度に市街地付近での捕獲事業を市で試験的に実施する予定となっております、少しでも市街地へのシカの出没を抑制していきたいと考えております。

しかし、これらの取組みだけで市街地へのエゾシカの出没を抑制することは難しいことから、市民の皆様には、自衛についてのお願いをしております。エゾシカはエサを求めて徘徊していることから、庭木等を食べられないように囲っていただくか、庭木等がある敷地を2m超えのネット等で囲っていただくことが防除として効果的です。それらの対応が難しい場合は、ホームセンター等で販売している防獣グッズ（防獣ライト等）の普段エゾシカが見慣れないものを設置することで寄り付きづらくなる可能性がございます。

キツネは「鳥獣保護法」により野生動物として保護の対象となっており、原則、捕獲や駆除ができないこと、キツネが寄り付いている原因の除去等が必要となります。キツネが寄り付く原因は、エサとなる誘因物が近くにある等キツネに好まれる環境になっている可能性があるため、ゴミステーションやコンポスト等の生ごみが散乱していないか、犬のエサを放置していないか等、誘因物と思われるものを除去することが対策となります。

エキノコックス症についてですが、エキノコックスと呼ばれる寄生虫の卵が、口から体内に入り、幼虫となって肝臓などに寄生し、肝機能障害などを起こす病気です。エキノコックスは主にキツネと野ネズミに寄生しており、自然界では野ネズミをキツネが捕食するという関係で寄生虫の媒介が行われております。人から人や、ブタや野ネズミから人に直接感染することはありませんが、エキノコックスが寄生したキツネやその糞に直接接触したり、糞に汚染された山菜や沢水などを口にすると感染の危険があります。

エキノコックスの感染予防について、外から帰ったら必ず手を良く洗うこと、野山の果実や山菜等はよく洗うか十分に加熱してから食べること（エキノコックスの卵は-20℃くらいの低温でも死にませんが、熱には弱く、100℃で1分の加熱で死滅します）、沢水や小川などの生水は基本的には飲むことを避け、飲む場合には煮沸することで感染を防ぐことができます。エゾシカやキツネなど、様々な鳥獣の情報について、今後もホームページを充実させるとともに、広報誌等により引続き、情報発信していきたいと考えていますので、よろしくお願ひします。